

HUGコミ

第19号

2014年3月

.com

もパートナーズ(東村山市秋津町) / TEL&FAX: 050-3510-4587 / E-Mail info@npohug.com / URL http://npohug.com



東村山市 ファミリー・サポート・センター

H25年度は、ころころの森にファミリー・サポート・センターが移り2年目となりました。カウンターや応接室も設置され、子育てひろばの中のセンターとしてだんだん馴染んできました。

年間約4000件の依頼があり、地域の提供会員さんがその活動を支えてくださっています。9~10月にかけて提供会員養成講習会があり、23名の新しい会員さんが誕生しました。地域によっては提供会員さんが十分とは言えず、更なる応援をお願いしたく、次年度の講習会ではより多くの方の受講をお待ちしています。



【H25年度の講習会等】

- 7/19(金) フォローアップ講習会「子どもの発達障害の理解とかかわり方」
- 9/17~10/11 提供会員養成講習会 全9日間
- 11/25(月) 提供会員交流会「ミトン人形講習会」
- 1/26(月) スキルアップ講習会「アサーティブトレーニング」
※相手を尊重しつつ、自分の意見を伝えるコミュニケーション術

H25年度 活動報告



ころころの森の行事で保育が必要な時は、提供会員からなる保育サポート「まめっちょ」のみなさんが保育にあたり大活躍中です。



H26年度 提供会員養成講習会

- ・H26年度 提供会員養成講習会 H26年9月中旬から10月中旬(詳細は8月の市報掲載予定)
- ・9/6(土)PM 東村山市ファミリーサポートセンター10周年記念イベント

ファミリー・サポート・センターって…?

育児の援助をしたい方と
育児の援助をしてほしい方が会員となり
地域の中で子育てを支援する
地域相互援助活動です。

東村山市ファミリー・サポート・センター
東村山市野口町1-25-15
東村山市地域福祉センター2F ころころの森内
TEL.042-393-5137 FAX.050-3510-4587
e-mail: famisapo@waltz.ocn.ne.jp HP
http://h-famisapo.npohug.com/

H26 年度もよろしくお祈いします

みなさん、早ければH27年度より国の子ども関連の制度が大きく変わることをご存知でしょうか。

東村山市でも「子ども子育て会議」が設置され、それに向けて準備が進められています。この春から上がる消費税分からも財源を確保し、これまで以上に子ども施策を充実するといつ大きな流れとなっています。在宅で子育てする家庭などすべての子どもを対象として、地域の実情にあったものとなるを謳われています。

国や市の動きに注目しつつ、私達にも受け身じゃない姿勢が今後益々求められていると思います。

HUG内では、今年度へへ、私達の理念は何だったろうかと立ち返るべく、課題や思いの共有と共に取り組まれました。「HUGのようこう、残念など」として宿題にして持ち寄り、みんなで意見を出し合っただけですが、その中で感じたことは、すくなく前年ですが、お互いを理解する、そして伝え合うことの大切さです。

まだまだこれから内部のコミュニケーションを大切にしながら、地域のみなさんともつながっていきたく思っています。今後ともよろしくお祈いいたします。

HUG子どもパートナーズ代表 磯部 妙



そのほかのHUGの事業です。

毎月のスケジュールは、「トコトコ通信」かHPでご確認ください。

親子サロン

HUGサロン ぽっと

毎月2回 火曜日 10:30~12:30
いきいきプラザ2F健診室
共催:東村山市子育て支援課
地域の情報提供もあり、引越してきた方や地元のことをよく知らない...というような方には特におすすめ。

HUGサロントコトコ

毎月最終金曜日 10:00~12:00
ころころの森(トコトコ通信の印刷日)
折ったり重ねたり手伝いをしながらのおしゃべりは楽しい!できたて「トコトコ通信」もゲット!

子育て広場 ハトの家

毎月第1/3月曜日 10:00~12:00
ハトホーム 1F和室(富士見町ハトホーム内)
タタミスペースで、子どももママたちまったりできます。その様子を眺めるお年寄り達は本当にうれしそう。

〈協カサロン〉ぼれぼれ広場

毎週木曜日 11:00~16:00
白十字ホーム 1F会議室(諏訪町2-26-1)
主催:ぼれぼれ広場実行委員会

月齢別ベビープログラム

2カ月の赤ちゃんとおしゃべりTime

毎月1回木曜日 10:20~12:00
対象:2~4カ月の赤ちゃんとおしゃべりTime
会場:いきいきプラザ2階健診室
共催:東村山市子育て支援課。

5カ月の赤ちゃんとおしゃべりTime

毎月第3水曜日(8.3月お休み) 10:20~12:00
対象:5~7カ月の赤ちゃんとおしゃべりTime
会場:ころころの森
主催:ころころの森

その他...

■「トコトコ通信」発行

ママたちが作る子育て情報誌。 →
毎月発行で、大人気!
市内の子育て情報がぎゅー!



■地域連携

- ・協働をすすめる会 参加
- ・市民協働よろず交流会 参加
- ・ひがしむらやま子育て応援ネット 参加 など

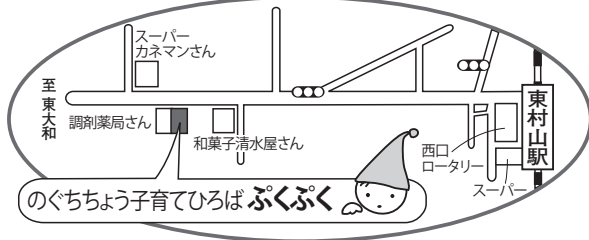
詳しくはコチラで...

<http://npohug.com>

東村山市のぐちちよう子育てひろば ぶくぶく

野口町にある常設ひろば。近所の親子が集う小さなひろば、一人でも気軽にどうぞ。いつでもふらっと寄ってください。

★月～土曜日 10:00～16:00 (日・祝日休み)
★お弁当タイム 12:00～13:00



東村山市野口町2-4-36 TEL 393-4181
※駐車場はありません

ぶくぶく外遊びサロンのほら

八国山の自然の中で親子一緒に遊びましょう。放射線の計測値により中止する場合はぶくぶくブログで。

- ◆毎週金曜日10:00～11:30
- ◆集合場所：たいけんの里 駐輪場
- ◆対象：2歳以上の親子
- ◆持ち物：水分、タオル、着替えなど
※雨天中止／駐車場はありません
※問い合わせ 090-1882-1681(野口)

3.11 ここからプロジェクト

ここ東村山から、またそれぞれの場所から
子どもたちの生きる未来を考えよう

略して「ここP」

H25年度のテーマは、ママたちの最大の関心事である「食」。放射能をはじめ、遺伝子組み換えや添加物など、食べ物については、知れば知るほど心配なことがたくさん。だけど、みんな日々食べなきゃやっていけない!! ... ということで、みんなで情報交換したり、達人ママに教えてもらったり、DVDをみたりしました。もちろんの原点である震災、原発事故への思いも大事に継続中。

26年度も引き続き「食」について考えていきます。大人気の「からだにいいごはん」を作って食べよう!」のほか、DVD上映やおしゃべり会なども計画してます♪



2013年秋「からだにいいごはん」は、はんとつくって食べよう!」にて。発酵食、雑穀、酵素を生かした食事について話を聞いて食べました。試食は親子みんなです!

ここPは奇数月に市内のどこかで開催しています。参加自由。日時、会場は『トコトコ通信』を見てね!



『かないくん』

谷川俊太郎 著
松本大洋 イラスト
糸井重里 監修
東京糸井重里事務所
1,600円(税別)

たまたま手にとった本ですが、神様が私にあてがったのではと思うほど、ど真ん中を癒してくれました。死がテーマですがとっても暖かい本です。(osenbe)



『しあわせの石のスープ』

ジョン・J. ミュース 作・絵
三木卓 訳
フレール館
1,400円(税別)

舞台は中国。旅するお坊さん3人が石でスープを作ることを通して、協力しあうことの大切さを心を閉ざした村人に優しく伝えます。読んだ後に心に静かに染み込む物語です。
“石のスープ”ってどんなスープ?(はた)

この本はいとこからもらいました。女性の体について、仕組みや病気について説明してある、今でいう性教育本です。私は四人兄弟の一番上で、母とじっくり話す機会もないまま思春期を迎え、時々泊まりにいった家の7つ上のお姉さんが大好きでした。本屋さんにも少ない場所に住んでいて、図書館以外の本を選ぶ機会の少なかった私には、お姉さんの本棚は、目からウロコ。いつも楽しませてもらっていました。あの当時、とことん女性目線の本は貴重だったなあ～。(ぼたもち)



『からだノート』

中山千夏 著
文春文庫(文藝春秋)
427円(税別)

『そういうふうになっている』

さくらももこ 著
新潮文庫(新潮社)
500円(税抜)

突然ダンナ様に子作り宣言されてあわててデタラメに基礎体温表を書く作者。無事妊娠しましたが、便秘とつわりでどうしようもない厭世感におそわれた気持ち等が、まる子ちゃんレベルの読みやすい文章で書かれていて、一気に読めます。出産後はマタニティブルーでシクシク泣く日々や、母性本能が炸裂し、赤ちゃんがいとおしくてたまらなくなる心情等がユーモアたっぷりに書かれていて、たまに読み返すと元気が出ます。出産時の初心に帰りたい人にオススメ。(文)



『この世でいちばん大事な「カネ」の話』

西原 理恵子 著
理論社
1,300円(税別)

中高生向けの本で、読みやすい。作者の育ちに裏うちされた、お金についての考え方が説得力を持って書かれています。お金のまつわる苦勞のエピソードは、作者の生い立ちそのもの。途中で止められず一気に読んでしまいました。大人が読んで、お金について、肩ひじはることなく考えられます。(ちちちのちー)



『原発ホワイトアウト』

若杉 冽 著
講談社
1,600円(税別)

大雪で送電線が倒れて、再稼働した原発が電源喪失でメルトダウン。住民が雪で逃げられず、情報も入ってこない…(今回の大雪は原発再稼働に対する重大な警告…)。リアルすぎて怖いけど、ほんとに起こりうる。若杉さんの危機感に共感すること間違いなしです。(Y.N)

新企画! おすすめの1冊

HUGメンバーに募集したところ、話題の新刊から、懐かしの1冊まで、絵本、小説、実用書とバラエティにとんだ本たちが集まりました。



『おこだでませんように』

くすのきしげのり 作
石井 聖岳 絵
小学館
1,500円(税別)

小学1年生の男が主人公。「ぼくは、いつでもおこられる。家でも学校でも…」子どもより親に読んでほしい絵本です。特に我が子育てにくいなと感じている方に。親向けの講習会の最後に、講師が読んでくれたのですが、お母さん達ほぼ全員泣いていました(もちろん私も、その日は息子に優しく接してあげられたような…)。(エルザ)



『ちっちゃいおっちゃん —笑って学べる心のおべんきょう』

尾崎 里美 著
カナリア書房
1,500円(税別)

大阪のゆるきゃらの方じゃないよ。お笑いセラピストの著者が潜在意識のことをおもしろわかりやすく関西弁で物語のように教えてくれます。わが子に自信をつけたいと思っている方、ママ自身に自信をつけたいと思っている方、ぜひ読んでみてください。学校でこういうこと教えてくれればいいのと思いつつ、わが子連れて神戸まで著者に逢いに行っていました(笑)(F. 小3男子の母)



『桐島、部活をやめるってよ』

朝井 リョウ 著
集英社文庫(集英社)
500円(税別)

とにかく今っぽくて「ちょっと読ませてもらうけど、気にしないけどね」みたいな、今私が少し難しい思いをしている娘に対する気持ちもついつい入り混じる、こぞとした態度で読み始めました。しかし、読み進めるうちに良質な人物像・空気感を感じていくことになりました。今の若者の、特に学校の中の苦しい人間関係がとてリアル。でも、扇情的で単純なテレビドラマなんかとは違う。執筆当時、現役高校生だった作者が、その息苦しさの中にも凜としたものや希望を、私たちにも信じられるかたちで、すくいとって見せてくれたからかな。(かな)